

系統 アクリル樹脂



塗装条件

塗装方法	はけ、ローラー、エアレス	
希釈率	0-5%	
標準塗布量 (kg/m ² /回)	0.15kg/m ² /回	
標準膜厚	中塗り	ウエット 100 μm ドライ 50 μm
	上塗り	ウエット 100 μm ドライ 50 μm

注) 上記の数値は塗装作業に必要な使用量の標準数値です。
標準塗布量は、個々の条件によって異なります。

塗装間隔

項目	温度	23°C
	標準塗布間隔	最短 3時間 最長 7日間

pH 8.0

塗料性状

項目	内容
1 荷姿	14kg
2 混 合 比	1液
3 色	標準色(全22色)
4 つ や	マット(5分つや)
5 臭 い	僅かにアクリル臭
6 仕 上 が り 感	平滑
7 比 重 / 密 度	1.21 (g/cm ³ /23°C)
8 日射反射率<近赤外線領域> (780~2500nm)	89.21%
9 溶 剤 比 重	—
10 加熱残分(固形分)	43-47 (%)
11 粘 度	2,000 ±500(mPa·s/23°C)
12 劇物表示	—
13 労安法上の表示有害物	エチレングリコール, 酸化チタン(IV), 無晶シリカ, 酸化第二鉄, フタロシアニンブルー, 塩素化フタロシアニングリーン
14 使用有機溶剤種別	—
15 消防法による危険物区分	適用外
16 硬化剤の成分による区分	—

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

特徴

- ①水系で、VOC(揮発性有機化合物)成分および臭気が少なく、塗装作業性が良好で環境にやさしい塗料です。
- ②特殊ナノセラミックの機能性により太陽光高反射及び排熱機能に優れWプラインド効果を実現しました。
- ③平滑性ある塗膜で作業性が良く、熱劣化を軽減する為耐久性に優れています。
- ④施工性を重視した樹脂比率です。畜舎等への施工に向いています。

主な適用素材

鋼板、トタン、波形スレート、ALCなど

適用下塗塗料

弱溶剤プライマーエポ、アクアサビノン、エシカルプライマーJ、弱溶剤クールシーラー、水性ホワイトシーラー、ソフトウォール、断熱ソフトウォール、マルチプライマーEP、断熱パワーーフ、バリストップ

使用上の注意事項

- 1) 原則、無歩行屋根にご使用下さい。塗料は十分に攪拌してから使用してください。
- 2) 下地面は十分に乾燥させて下さい。調整が不十分ですと、さびの発生・付着不良の原因になりますので入念に行ってください。
- 3) シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染、密着不良、又は塗膜に割れが発生することがあります。
- 4) 塗料の取り扱い時と塗装時は、十分に換気を行ってください。また、塗装後も乾燥のために、換気を十分に行ってください。
- 5) 被塗物の形状、膜厚、色目、塗回数、希釈率により、つやが異なって見える場合があります。
- 6) 刷毛、ローラー塗装時の塗継ぎ箇所等艶むらを生じやすい傾向にあります。試し塗りの上、本施工してください。スプレー塗りの場合は、周辺への飛散防止に十分配慮し、養生などを行ってください。
- 7) 低温時(5°C以下)、多湿時(85%以上)、結露の発生が見込まれる場合は、塗膜の乾燥過程で欠陥を生じる事がありますので施工を避けて下さい。
- 8) 降雨、結露、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を避けて下さい。(塗膜の膨れ、剥離、白化等の不具合を生じる場合があります。)
- 9) 標準施工仕様に準じて所要量及び間隔時間を厳守の上ご使用下さい。希釈の必要な製品は指定の希釈材を用い適切な量、適切な方法で均一に薄めて下さい。
- 10) 希釈した製品は、長期間保管後使用しないでください。
- 11) 材料は直射日光下、高温、高湿を避け、冷暗所に保管して下さい。又、0°C以下での保管は避けてください。
- 12) 作業を行う場合には、適切な保護マスク、保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用下さい。
- 13) 日没までに十分に乾燥させてください。感想が十分ではない場合、垂れ、ムラ、剥離等を引き起こす原因となりますのでご注意ください。
- 14) 塗装後ははけ・ローラー・エアレス塗装機などの用具は、早めに水洗いを行ってください。
- 15) その他塗料の取扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)を参照下さい。

※本製品説明書の内容には、予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。